

実態



中学不安くん

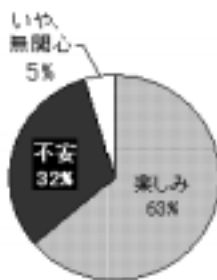
ご存じでしたか？

「中学校進学が不安な6年生」が
こんなに たくさんいたのです。

小学校 編

「中学不安くん」が たくさんいます

中学校生活への期待
B小学校6年生(聞き取り調査結果)



○ まず、左のグラフをご覧ください。

多くの小6が中学校に進学することを「楽しみ」にしている一方で、「いや、無関心」もあります。そして「不安」と感じている子どもの多さに驚きます。

中学校進学前の小6は、実はたくさんの不安をかかえていたのです。小6の**約3割**が「不安群＝中学不安くん」で、**不安の壁**を乗り越えられない状態と言えます。

この「不安群」の子どもの中に、いわゆる「中1不登校」が隠れている可能性があります。

「不安くん」の心は複雑です

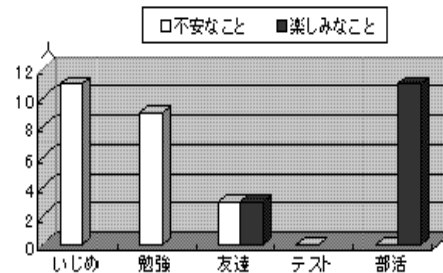
○ 次に、右のグラフをご覧ください。

「不安群」の子どもたちは、具体的にいじめや勉強に対する不安だけでなく、漠然とした不安を感じている場合もあります。一方で、部活は楽しみにしています。

つまり、不安だけれど期待もある、多面的で複雑な気持ちなのです。

このことから、「不安群」の子どもたちには不安を和らげるだけでなく、期待を高めることが重要だということが分かります。また、中学校についての知識や期待を高める支援は、「楽しみ群」や「いや群」にも有効であることは言うまでもありません。

中学校生活で
不安なこと、楽しみなこと
B小学校6年生 不安群（複数回答）



ポイント①

まず、自分の学校の子どもたちの、
中学校に対する **本音** を把握しましょう。

○ アンケートや聞き取り調査などを行い、自分の学校の全体的傾向と、特に不安感の強い子どもをチェックしましょう。

- 子どもたちの実態に合った**入学前中学校生活ガイダンス**を組み立ててみましょう。
- 「**申し送りカード**」を使った**小・中情報交換会**で、情報を確実に中学校に伝えましょう。



これが
全ての支援の
もとに
なります。

実態 やっぱい！ 先生たちが感じていたことは、 正しかった。

中学校 編

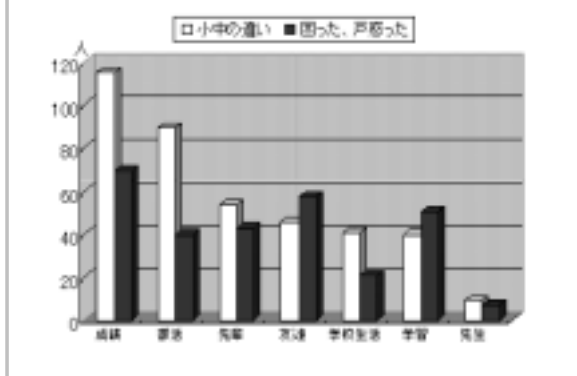
中学校の先生たちから「休み明けや高原学校の後に登校しぶりがでる」「女子は友人関係でつまづく」などの言葉がよく聞かれます。調査の結果、これらが正しいことが分かりました。くわしく説明したいと思います。



中学なやみさん

「とまどいの壁」と「なやみの壁」

小中の違い、困った・戸惑ったこと
A中学校1年生アンケート結果(複数回答)



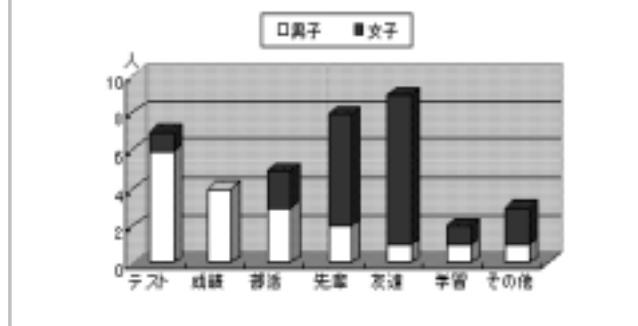
- まず、左のグラフをご覧ください。
入学直後に感じる小中の違いは、『成績』『部活』などが極端に多いのが分かります。これが小・中の違いに驚き戸惑う子どもが感じる**とまどいの壁**です。多くの中1は自力で乗り越えますが、中学校生活の中核を占めるこれらを乗り越えられない子どもは、やはり中1不登校になりやすいと考えられます。
- 次に**困った・戸惑った**では、他項目と違い『友達』『学習』だけが増加しています。ここから、学校には慣れたものの乗り越えられない問題を抱えた子どもが感じる**なやみの壁**の存在が読み取れます。自力で解決できない問題を増大させている可能性があり、中1不登校に最もなりやすい状態といえるでしょう。

- さらに、アンケートで解決していないことがあると答えた子どもは**約2割**。つまり、約2割の中1が**なやみの壁**を感じていることになります。

男女差のある「なやみの壁」

- 右のグラフをご覧ください。
解決できなかった内容を見ると、男子は『テスト』『成績』、女子は『先輩』『友達』で、男女差が表れています。
ここから、支援方針が見えてきませんか？

解決できなかったこと
A中学校1年生アンケート結果(複数回答)



ポイント②

「とまどいの壁」は、どの子にもあると考えましょう。



- 学習方法やテストなどについての理解を。 → **入学後ガイダンス**の実施
- 教室や部活でも積極的な人間関係づくりを。 → **構成的グループ・エンカウンター**などの実施
- 「とまどいの壁」対策は、「なやみの壁」を低くすることにつながります。

ポイント③

「新しい環境になじみにくい子」を小学校段階から見極め、
重点的に見守りましょう。

- **小・中情報交換会**は、入学前・入学後の**2回実施**しましょう。
- 「**申し送りカード**」を使った小・中情報交換会で、小学校からの情報を活用しましょう。